

※水色と黄色のセルは回答必須(回答すると色が消失)。				送付先:report@r-ict-advisor.jp (一財)全国地域情報化推進協会	
				派遣決定番号	128K
				報告日	令和7年8月1日
				報告回次	1日目
令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	岐阜市			代表者名	柴橋 正直
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	行政部デジタル戦略課	連絡先電話番号	058-265-3909
担当者役職	係長	担当者氏名	長尾 洋輔	連絡先E-mail	
住所	500-8701 岐阜県岐阜市司町40番地1				
1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)					
団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	管理職員のDXマインドセット研修		
概要	本市のDXをさらに推進するため、管理職員が自治体DX推進が必要となる背景を今一度正しく認識し、各職場で取り組むBPR及びEBPMへの理解を深める研修の実施				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) EBPM(エビデンスに基づく政策立案)				
2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年8月1日	事前打合せ(オンライン)	11時00分	12時00分	
				活動時間(分)	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン
3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望 支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	鈴木 昌幸				
評価	大変良い				
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本市におけるDX及びDX人材の育成の取組状況を理解したうえで本市の課題を的確に捉え、ご自身の自治体での取組や他都市の状況、またこれまで実施されてきた数多くの研修の実績と知見に基づく効果的な研修の内容案を提示いただけたため。				
アドバイザーへの要望事項	本市の管理職員がBPRやEBPM等の重要性と理解を深めるため、事前打合せの内容に基づき、効果的な研修の実施をお願いしたい。				
4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	4人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	4			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市では、市民サービスの向上や職員の働き方改革などにつなげるため、市役所のDX推進や地域社会のDXに資する取組を推進しており、とりわけ、それを支えるDX人材(職員)の育成を重視し、庁内のDXの中核的な牽引役であるDX推進リーダーを対象に実践型のデジタルスキルを身に着けるためのBPRやEBPM等の研修を実施してきている。こうした中、全庁的に業務改革やデータに基づく政策立案を推進していくためには、スキルをもったDX推進リーダーだけでなく、各業務を所管する部署の管理職員が、その重要性と理解を深めることが必要不可欠である。				
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DX推進が必要となる背景を今一度正しく認識し、BPRやEBPM等の重要性と理解を深めるための研修を実施し、本市の各部署の管理職員に当該認識と理解を浸透させる。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	本市のDX及びDX人材育成に関するこれまでの取組を説明し、現状の課題を理解いただいたうえで、その解決に向けた研修の実施内容案を提示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	上記課題解決に向けた研修の大きな内容(※)を決定するに至った。 ※自治体経営の展望/マインドの醸成/BPRの改善点の抽出/データ活用の重要性 など	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	研修開催に向けて、途中段階であるため、具体的な成果物はできていない。	
改善又は解決されなかった内容	研修の開催	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修の事前打ち合わせであったため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	本市の各部署の管理職員を対象に、自治体DX推進が必要となる背景を今一度正しく認識し、BPRやEBPM等の重要性と理解を深めるための研修の開催に向けた具体的な内容を決定し、研修を開催する。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	全庁的なBPRの推進により、職員の業務生産性の向上を図り、その結果生み出される時間や労働力を本来職員が注力すべき、市民に寄り添ったサービスや地域課題の解決に向けた創造的な業務に振り向けるとともに、EBPMのさらなる推進により、市民ニーズに応じた、より質の高い行政サービスを提供し、市民の幸福な生活の実現につなげる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

☐掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

